

教育だより

きらめく人づくり

第38号

平成30年12月

編集発行 佐賀県教育委員会

〒840-8570

佐賀市城内一丁目1番59号

☎0952(25)7398



第43回全国高等学校総合文化祭

2019 さが総文

創造のつぎは、君へ

来年度の本大会に向けて着々と準備を進めています!

全国高総文祭とは

全国高等学校総合文化祭とは、昭和52年から始まり、各都道府県持ち回りで開催されている高校生による文化芸術活動の祭典です。

47年に1度の大会が2019年の夏、佐賀県内の全市町で開催されます。佐賀大会では19の規定部門および4つの協賛部門を開催します。

参加校は約3,000校、約2万人の参加者と観覧者約10万人が佐賀を訪れるというビッグイベントなのです。

開催期間

2019年7月27日(土) > 8月1日(木)

開催部門と開催市町

初日に行われる総合開会式、パレードの開会行事から始まり、合計23部門が佐賀県内の各地で行われます。

開会行事

総合開会式
佐賀市

パレード
佐賀市

規定部門

演劇
鳥栖市

合唱
鳥栖市

吹奏楽
佐賀市

器楽・管弦楽
佐賀市

日本音楽
武雄市

吟詠
唐津市

郷土芸能
武雄市

マーチングバンド
パントフライング
佐賀市

美術・工芸
佐賀市

書道
唐津市

写真
嬉野市

放送
基山町

囲碁
鹿島市

将棋
江北町

弁論
多久市

小倉百人一首
かるた
佐賀市

新聞
佐賀市

文芸
伊万里市

自然科学
佐賀市

19部門

協賛部門

特別支援学校
佐賀市

ボランティア
白石町

茶道
小城市

郷土研究
有田町

4部門

生徒実行委員会を中心に大会を盛り上げます!

生徒実行委員会は、高校生が主体的に企画・運営に参画し、大会を創っていくという全国高総文祭ならではの組織で、業務部会と部門部会があります。

業務部会は、総務、総合開会式、パレード、広報デザイン、国際交流、記録イベントの6部会84名(10月末現在)で構成され、大会全般に係る企画・運営を担っています。

また、部門部会は演劇や合唱など開催23部門の各代表で構成され、総勢358名(同)で各部門大会に係る企画・運営を担っています。

生徒実行委員会では、委員長を中心に今後も準備を進め、「2019さが総文」が、来訪される皆様へ佐賀の魅力を伝えられる大会となるよう頑張っていきます!



会議では活発な意見交換が行われています!

詳しくは

全国高総文祭推進室 ☎0952(25)7462 FAX 0952(25)7067

✉sagasoubun@pref.saga.lg.jp

🌐 2019 さが総文

🔍 検索

生徒実行委員会の活動とプレ大会

開催1年前イベント

プレ大会パレード

8月3日(金)には開催1年前イベントとして、韓国珍島國樂高校を招へいし、佐賀市文化会館で「国際交流コンサート」を開催しました。また同日、佐賀県立図書館西から佐賀城本丸歴史館西門まで、プレ大会パレードを実施しました。

今年は猛暑日の連続や台風の接近などで、予定していた会議や準備が満足に出来ず、不安ばかりが募りましたが、無事に行えました。

いずれも生徒実行委員会にとっては初めての大きなイベントとなりましたが、国際交流・パレード部会を中心に、全員で協力して臨みました。観覧者から「来年が楽しみ、期待しています」という感想が寄せられ、本大会へ向けて大きな自信になりました。



プレ大会総合開会式



吉村委員長の力強い挨拶



第二部 高知県との交流



第一部 式典 合唱・吹奏楽隊



第三部 構成劇 蒼天の翼



第一部 式典 合唱・吹奏楽隊



第三部 構成劇 蒼天の翼

10月14日(日)には、第43回全国高等学校総合文化祭プレ大会総合開会式を第30回佐賀県高等学校総合文化祭と兼ねて開催しました。

総合開会式は、本大会同様の三部構成(第一部式典、第二部交流、第三部開催地発表)。式典では合唱隊(佐賀西高校、佐賀北高校、致遠館高校、小城高校)の澄んだ歌声が響き、吹奏楽隊(佐賀北高校)の華やかな演奏が観客を魅了しました。2020年度開催となる高知県生徒実行委員会との交流ステージを経て、開催地発表の構成劇「蒼天の翼」へ。

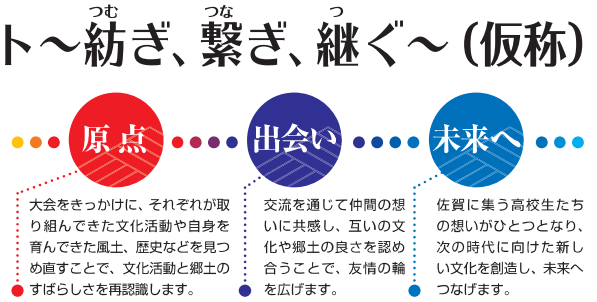
夢や希望と「現実」の狭間で葛藤しながらも未来へと立ち向かう高校生の姿を描いたストーリーに涙が止まらなかったという声が多数寄せられました。大盛況のうちに終わることができ、来年夏の本大会へと引き継ぐことができました。

全県企画

羽ばたけ！未来の担い「手」プロジェクト～紡ぎ、繋ぎ、継ぐ～（仮称）

佐賀県の魅力を発信し、参加者全員で共有できるプロジェクトを企画しています。先人の「手」によって築き上げられた文化・風土・歴史の魅力を発信し、開催市町や高校生との交流を深め、次代に向けた新しい文化の創造に繋げる私たちは、未来の担い「手」です。

私たち生徒実行委員会では、この担い「手」に注目して検討をすすめています。どんな企画になるかお楽しみに！



部門別マスコットキャラクターも決定！

2019さが総文



公式マスコットキャラクター「あさぎちゃん」の部門別デザインが決定しました。

2019年3月まで開催される部門別大会をはじめ、本大会を盛り上げます。部門情報やダウンロードできる「あさぎちゃん」など、コンテンツが盛り沢山の2019さが総文ホームページもぜひご覧ください！



2019 さが総文

検索

詳しくは

全国高総文祭推進室 ☎0952(25)7462 FAX 0952(25)7067 ✉sagasoubun@pref.saga.lg.jp

2019 さが総文

検索

平成31年4月 伊万里実業高等学校が開校します

平成26年12月に県教育委員会が策定した「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）」に基づき、平成31年4月に新しく伊万里実業高等学校が開校します。

新高校は、2つの校舎（校地）を利用する「校舎制」の学校です。

新高校名 県立伊万里実業高等学校

（現在の伊万里農林高等学校及び伊万里商業高等学校が再編統合）

<全日制課程> 定員 計200人

校舎名	農林キャンパス （現在の伊万里農林高等学校）	商業キャンパス （現在の伊万里商業高等学校）
学 科 定 員	生物科学科 40人（1学級） 森林環境科 40人（1学級） フードビジネス科 40人（1学級） ※フードビジネス科は、1年次に商業キャンパス、2・3年次に農林キャンパスに配置されます。	商業科 40人（1学級） 情報処理科 40人（1学級）

<定時制課程>

現在の伊万里商業高等学校の定時制課程を継続

校舎：商業キャンパス 学科：商業科 定員：40人（1学級）



詳しくは

教育振興課 ☎0952(25)7424 FAX0952(25)7409 ✉kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp

大韓民国全羅南道教育厅との交流を行っています!!

平成23年1月に佐賀県知事と大韓民国全羅南道知事の間で友好交流協定が締結されました。これを契機として、県教育委員会と全羅南道教育厅間で生徒や教職員の交流を進め、平成26年度には県教育政策課（現在の教育振興課）と全羅南道教育厅教育振興課との間で教育交流に関する覚書(MOU)を締結しました。

現在では、佐賀県と全羅南道の教育関係者間において、以下のような短期の教職員や生徒間の交流を進めています。

生徒の交流



全羅南道国際教育院が主催する「英語体験キャンプ」に佐賀県の中学2年生を派遣しています。

平成30年度は県内の中学2年生4名と引率教員1名を平成30年7月29日(日)から8月3日(金)まで派遣しました。

このキャンプでは、佐賀県の中学生と全羅南道の中学生が英語を一緒に学び、英語を使って互いにコミュニケーションをとりながら交流を深めています。

ともに学び、生活をする中で、日本と韓国それぞれの文化への理解を深め、国際的視野や国際協力の心を養っています。



教職員の交流



(H30年度：学校訪問)

《佐賀県の教職員が 韓国の教育現場でICT教育等を学んできました!!》

佐賀県の教職員を全羅南道教育厅へ派遣し、短期間の研修を行っています。韓国は英語教育や専門高校における職業教育等が進んでいることから、韓国の先進的な教育制度視察や教育関係者との交流・意見交換等を行うことで、佐賀県教職員の国際的視野を広げることにつながっています。また、両県道の教職員間の交流が進むことで、学校間・生徒間交流の一層の促進を図っています。

平成30年度は、教職員等7名を派遣し、平成30年10月10日(水)から10月13日(土)の4日間において、全羅南道の小中学校等を訪問するとともに、両県道の教職員でそれぞれが抱える教育課題や先進的な取組について活発な意見交換を行いました。

教職員の交流

《韓国の教職員も佐賀県の教育現場へ 先進的取組を学びに来ています!》



佐賀県が行っている先進的な取組事例を学ぶために、全羅南道の教職員が佐賀県内の学校等を訪れています。

平成29年度は、全羅南道教育厅職員並びに幼稚園、小学校、中学校及び高等学校教員の12名が武雄市立武雄北中学校及び武内小学校並びに佐賀市にあるふたばこども園を訪れました。

武雄北中学校では、ソフトバンク社のヒト型ロボット「ペッパー」を使ったプログラミング教育を視察し、韓国の先生たちから驚きの声があがっていました。このほか、武内小学校では、子どもたちのやる気をひきだす「花まる授業」の見学、ふたばこども園では、光あふれる園舎のなかで元気に遊び学ぶ園児たちの視察を行い、佐賀県における先進的な取組に刺激をうけて韓国に帰られました。



武雄北中学校



武内小学校



ふたばこども園



全羅南道訪問団

ICTを利活用した教育に取り組んでいます！

県教育委員会では、高度情報化、グローバル化が急速に進展する社会にあつて、必須となるコミュニケーション能力や情報活用能力の育成など、児童生徒の主体的な学びを創造し、教育の質を向上させる目的で、全県規模でICT利活用教育を推進しています。

学習用パソコン等で学びを深める！

県立高校全校では、平成26年度から電子黒板と一人1台の学習用パソコンを使用した教育を進め、一人ひとりの個性や能力に応じたわかりやすい授業を実施しています。

一斉学習、個別学習、協働学習など、それぞれの授業の内容に応じてこれらを組み合わせたスタイルの授業を実施しており、生徒が主体的に学ぶ姿が見られます。



▶ データの記録・整理、分析、発表

生徒たちは、手に入れた情報を整理し、分析をすることで思考を深めます。まとめた内容を電子黒板に映して、生徒自身が発表する機会も増えています。



▶ 授業内容の復習

学習用パソコンに配布されたデジタルワークシートで、授業の復習をします。



▶ 協働的・対話的な学び

各班で意見を出し合いながら、思考を深めていきます。

子どもたちのプレゼンテーションの力を育む！



平成30年度高校生ICT利活用プレゼンテーション大会は、12月15日に佐賀市文化会館で開催します。今年度は、133作品の応募があり、第一次審査を勝ち抜いた団体4グループ・個人5人がプレゼンテーションを行います。学習の成果が詰まった熱いプレゼンテーションを是非、見に来てください。

県教育委員会では、高校生のICTへの関心や情報活用能力を高め、日頃の取組の成果を発表する場、高校生ならではの視点で情報発信を行う場として、「高校生ICT利活用プレゼンテーション大会」を開催しています。

昨年度の大会には、佐賀県内の高校から22作品の応募があり、大会当日は第一次審査を勝ち抜いた団体4グループ・個人4人がプレゼンテーションを行いました。

「持続可能な農業を目指して」「赤ちゃんポストは設置すべきである。是か非か。」など多岐にわたるテーマで、生徒の思いが伝わるプレゼンテーションが展開されました。

高校生ICT利活用プレゼンテーション大会や、ICT利活用教育の取組状況の詳細については、佐賀県教育委員会ホームページをご覧ください。



佐賀県 ICT 教育

検索

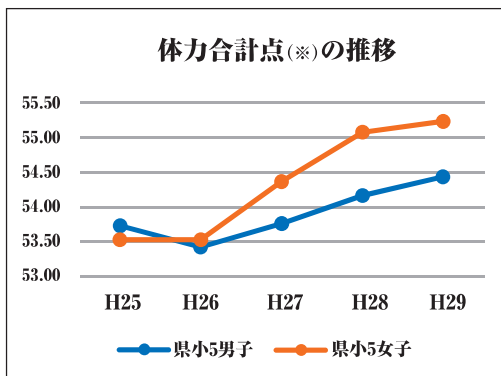
詳しくは

教育情報化支援室 ☎0952(25)7222 FAX0952(25)7286 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

スポーツチャレンジを実施しています

県教育委員会では、日頃運動に関わることが少ない児童にとって運動に親しむきっかけとするために、平成25年度から「スポーツチャレンジ」を実施しています。初年度は58校の参加でしたが、昨年度は100校の参加となり、この取組が一要因となって、本県の児童の体力も向上しているところです。

「スポーツチャレンジ」は、ルールや道具の準備が簡単、持久力や柔軟性など体力向上に繋がる要素を幅広く含んでいる等を考慮し、「8の字とび」、「ドッジボールラリー」、「みんなで輪くぐり」、「マラソン選手に



全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)結果

県内小学校によるクラスマッチ(7種目)実施!
平成29年度結果!今年度の目標のめやすにしてね!

スポーツチャレンジ賞(各種目No.1)
8の字とび
浜小学校 6年1組 439回

スポーツチャレンジエントリー賞(取組順上位3校)
・二里小学校・湊小学校・東原厚舎西浜校

敢闘賞(各種目3位以内に入った学年)
ドッジボールラリー
山内西小学校 3年1組 125.5回

れんぞく馬とび
鹿島小学校 3年1組 48回
循勝小学校 3年2組 48回

体力・運動能力調査優良校
※県体力調査5・6年生の(AB・CD)準合計上位校
馬渡小学校 小規模校
中原小学校 中規模校
三日月小学校 大規模校

マラソン選手にちょうせん
若葉小学校 6年1組
1時間 58分 34秒

たてわりでちょうせん8の字とび
中川副小学校 7班 235回
武内小学校 3班A 234回
武内小学校 4班A 227回

れんぞく馬とび
循勝小学校 2年1組 49回

平成30年度の挑戦は
今年の5月14日(月)から
来年の1月19日(金)まで!
表彰そして記念品もあるよ!
たくさん参加してね!

ちょうせん」、「れんぞく馬とび」、「たてわりでちょうせん8の字とび」、「あくりよく(新種目)」の7種目を設定しています。毎週、「さがんキッズ体力アップホームページ」で各種目、各学年の順位を紹介していますので、学級や家庭などで確認ください。

また、昨年度は、県内小学生に「スポーツチャレンジ」をさらに盛り上げるのにふさわしいキャラクターを公募し、355点の応募がありました。その中から、最優秀賞(1点)、優秀賞(3点)に輝いた作品を、マスコットキャラクターとして周知を図っているところです。マスコットキャラクターは上述のホームページからダウンロードできますので、各小学校において運動会のプログラムや体育の学習カード、学校・学級通信、学校内の掲示物など、様々な場面でご利用ください。

※新体力テスト実施要項に基づき、握力や上体起こしなど8種目を対象として、その結果を得点化(満点80点)し合計したものの。

県教育長が表彰します

毎年、年度末にスポーツチャレンジの取組頻度が高かった小学校(スポーツチャレンジエントリー賞)や各種目・各学年で最高値を記録した学級等(スポーツチャレンジ賞・敢闘賞・スポーツチャレンジ奨励賞)を表彰しています。

また、上記表彰のほか、各種目の学年1位の学級を、各学校で表彰しています。なお、表彰状とともに、さらに運動へのかかわりを増やしてほしいと願い、ドッジボール、ストップウォッチ等の記念品も贈呈しています。

体力向上にとどまらず、学級の団結を強めるため、また思い出作りの一環としてご利用ください。

平成29年度 県教育長表彰の様子



さがんキッズ

けんさく 検索

小学校で始まった「特別の教科 道徳」とは？

小学校では、平成30年4月から「特別の教科 道徳」(道徳科)が始まりました。中学校では、来年度から実施されます。

小・中学校の道徳教育は、各教科や総合的な学習の時間、学校行事など、学校の教育活動全体を通じて行われており、その中心となるのが、週1時間の道徳の時間でした。今回の教科化は、これまでも行ってきたこの道徳の時間を更に改善・充実させようというものです。

「特別の教科 道徳」の授業イメージ



「特別の教科 道徳」のポイント

- 検定教科書を導入
- よりよい生き方についてじっくり考える「考え、議論する道徳」の授業の重視
- 数値による評価ではなく、児童生徒の成長の様子を認め励ます、記述による評価の導入(他の児童生徒と比較したり、入試で使用したりしない)

授業では、児童生徒が、「自分はどうか」「自分ならどうするか」など、自分のこととして考え、自分と同じ、あるいは異なる意見をもつ友達と議論することを通して、よりよい生き方について深く考えることになります。

県内の全公立小・中学校及び義務教育学校では、保護者や地域の方々に道徳の授業を公開する「ふれあい道徳教育」を実施しています。ぜひ、学校へ足をお運びいただき、道徳の授業を参観してみてください。

詳しくは 学校教育課 ☎0952(25)7048 FAX 0952(25)7286 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

「LGBT」に関する電話相談が始まりました

「LGBT」って何？

みなさんは、人間は生まれた時の身体つきなどで性別が決められ、異性を好きになることが当たり前だと思いませんか？

性は「女」「男」の2つに区分される訳ではなく、自分の性別を自分でどう思うか(性自認といいます)、どういった人を好きになるか(性的指向といいます)は多様であることが知られるようになってきました。

その中で、右の4つの頭文字をとったものが「LGBT」で、性的少数者などと言われます。

これらの特性は、個人の趣味や一過性のものではないため、本人の意思で変えられるものではありません。また、少数であることから身近に感じない人たちも多いと思います。しかし、実際はいないのではなく、いじめや差別を受けることをおそれ、自分の性のあり方を明らかにできないでいるため、「いないことにされている」「誰にも言えない状況にある」と言えます。

- L (レズビアン) …性自認が女性で、女性を好きになる人
 - G (ゲイ) …性自認が男性で、男性を好きになる人
 - B (バイセクシュアル) …女性も男性もどちらも好きになる人、性別を問わずに好きになる人
 - T (トランスジェンダー) …出生時に決められた性別と違う生き方をする人
- ※これらの他にも様々なタイプがあり、性のあり方は一人一人違って、多様です。

自分の性のあり方について児童生徒が気軽に相談できるように、今年4月から電話相談が開始されています。

○電話相談窓口

佐賀県DV総合対策センター

電話番号 相談専用ダイヤル 090-1926-8339
相談日 毎月 第2日曜日、第4水曜日 14:00~16:00

※臨床心理士が相談をお受けしています。
※相談された内容やお名前などを公表することは絶対にありません。安心してご相談下さい。



詳しくは 人権・同和教育室 ☎0952(25)7348 FAX 0952(25)7286 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp

新しく指定された県内の文化財を紹介します

平成29年10月から平成30年9月の間に国と佐賀県が指定等を行った文化財です。

これらの文化財は、佐賀の歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた私たちの貴重な財産です。

国重要文化財	<p>いろ えつばきもん なべしま 色絵椿文大皿 鍋島 【所有:公益財団法人鍋島報効会】</p> <p>一尺(30cm)を超える優美な大皿で、口縁の唐草文様や、見込みの椿文は、黄、黒、茶、赤、二色の緑など多彩な色絵を用いて綿密に描かれています。椿文の輪郭を一方は染付、もう一方は黒の色絵で表している点が特徴です。そのうち、前者の表現は鍋島焼に定着し、後者は民間の柿右衛門様式などに受け継がれたと考えられます。</p> <p>1650年代に有田の岩谷川内の藩窯で製作されたと考えられ、初期の鍋島焼を考える上でも重要な作品です。</p>	佐賀県重要無形民俗文化財	<p>きん ろ しんこうさい 琴路神社の神幸祭 行事【所有:琴路神社の神幸祭行事保存会】</p> <p>江戸初期から360年以上にわたり氏子を中心とする地区の人々により脈々と受け継がれ、神幸行列の規模は県内最大であるとともに、特徴のある獅子舞や剣突きを有し、馬が神輿と競り合って社殿の周囲を駆ける馬かけは、全国でも当神社のみでみられる貴重な神事となっています。</p>
	 <p>(染付による輪郭) (黒の色絵による輪郭)</p>		<p>かんぶうてい 水野旅館 観風亭・門 【所有:個人】</p> <p>水野旅館観風亭は、良質の木材を用い、優れた大工技術によって建てられた伝統的な近代和風建築で、門は唐津城下に残る武家門の遺構として、また水野旅館の玄関として、屋敷の佇まいを構成する重要な要素であり、唐津城下町における良好な景観を形成しています。</p>
佐賀県重要文化財	<p>さびる りせい じゆうはすさぎもんりん か 銹瑠璃青磁釉蓮鶯文輪花 三足皿 【所有:佐賀県】</p> <p>初期伊万里の三足皿で、5種類もの異なる釉薬を組み合わせ、多彩に表現し、一つの器の中にさまざまな技法を駆使し、当時の最高の技術を注ぎ込んだ極めて特殊で上質の作品で、有田の山小屋窯で制作された可能性が高く、制作年代は1640年代頃と考えられます。</p>	国登録文化財	<p>しゅおく 齊藤商店店舗兼主屋 【所有:個人】</p> <p>小城市小城町に所在し、羊羹の原材料となる砂糖を卸す商売を行って繁盛した商店で、座敷や細部の意匠には随所にデザイン性がみられ、小屋組に使用された重厚なトラスの架構、洋風意匠を取り入れたミセの空間、多様なガラスを用いた建具や欄間など、小城市を代表する地場産業である羊羹業の繁栄の歴史を物語る重要な建物です。</p>
	<p>なかばる もっかん 中原遺跡出土木筒 と土師器相模型模倣杯 【所有:佐賀県】</p> <p>唐津市の中原遺跡から出土した木筒と土師器の杯で、防人の実態や奈良時代の国内外の社会情勢を実証し、不明だった松浦郡内の「郷」や駅家の所在地を明らかにするなど、極めて学術的価値の高いものです。</p>		<p>しゅおく 香月家住宅主屋 【所有:個人】</p> <p>嬉野市塩田町に所在し、良質な木材を用いた重厚な架構からなり、意匠に優れた持送りや欄間装飾等が建物を豊かに彩るなど保存状態も良好で、かつての蓮池支藩領の志田西山に残る志田焼の窯主の住宅として重要であり、地域の歴史的景観の重要な要素となっています。</p>

詳しくは 文化財課 ☎0952(25)7232 FAX 0952(25)7321 ✉bunkazai@pref.saga.lg.jp

●「教育だより きらめく人づくり」では、皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしています。  佐賀県教育庁 教育総務課 危機管理・広報担当 〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 ☎0952(25)7398 FAX0952(25)7281 URL: <http://www.pref.saga.lg.jp> ✉kyouiku-soumu@pref.saga.lg.jp

※佐賀県教育委員会が収集した個人情報、「佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム」に従い、各事業の実施以外の目的で使用することはありません。